

2021年(令和3年)7月8日 木曜日

岐 阜 新 聞

# 雪中酒、涼をお届け

## 飛騨市で

### 発送作業

雪の中で3カ月にわたり寝かせた日本酒「飛騨かわい雪中酒」を雪室から出して天然雪と共に発送する作業が7日、飛騨市河合町稲越にある雪室で行われ、特別に造られた日本酒が全国の愛飲者に届けられた。



雪国ならではの特産品づくりとして30年ほど前から続いており、同市の第三セクター「飛騨ゆい」(同市河合町)が事業を担い、渡辺酒造店(同市古川町)が酒造りを担当している。この日は、大量の雪で覆われた雪室から1635本(1本720ミリ)の酒を運び出し、約30人が手際よく作業。発泡スチロールの箱に酒と天然雪を詰め、花を付ける直前の桃の枝を添えた。14日と21日も行う。価格は1本4千円、2本6500円で、計4千本を出荷する。今年から「令和」の字を揮毫した同市出身の



雪室から運び出された飛騨かわい雪中酒の発送作業  
＝飛騨市河合町稲越

書家、茂住修身さんが「雪中酒」と記したラベルの瓶を使用している。問い合わせ 2656。(一川哲志)

せは飛騨かわいやすまぢ工房、電話0577(65)